

【母性看護学】

問 次の文を読み、問いに答えなさい。

在胎週数41週5日、体重2,450gで出生した女児の出生後1分の観察結果である。

心拍数148回/分、体幹部がピンク色だが、四肢にチアノーゼを認める。四肢を屈曲させ、強く啼泣しており、刺激に対しても啼泣がみられる。

この女児のアプガースコアは何点か。

問 妊娠期について正しいものを、次の中から1つ選びなさい。

- 1 頭位の場合、レオポルド触診法の第1段法で触知できるのは、胎児の頭部である。
- 2 妊婦の血漿量が最大になるのは、妊娠初期である。
- 3 BPSが4点以下の場合、胎児のアシドーシスが示唆される。
- 4 妊娠5週には、超音波ドップラーで胎児心音が聴取できる。

問 胎児心拍数陣痛図(CTG)の所見で誤っているものを、次の中から1つ選びなさい。

- 1 基線が100～160bpmの間である。
- 2 胎動と子宮収縮に一致して心拍数の上昇が認められる。
- 3 ノンストレステスト(NST)では、20分間に2回以上、15bpm以上15秒以上の一過性頻脈がみられる。
- 4 胎児頻脈は、母体の発熱や頻脈に伴うことが多い。

問 全前置胎盤の妊婦(妊娠36週2日)が、陣痛発来に至った。その場合の誤った対応を、次の中から1つ選びなさい。

- 1 子宮収縮促進薬を投与する。
- 2 胎児心拍数のモニタリングを開始する。
- 3 バイタルサインを測定する。
- 4 帝王切開術の準備を行う。